

令和3年度実施事業の進行管理について

○実施事業の進行管理

寒川町子ども・子育て支援事業計画は、子ども子育て支援法に基づき、「教育・保育施設」や「地域子ども・子育て支援事業」などの、量の見込みや提供体制の確保などについて定めるものですが、併せて、次世代育成支援対策推進法に基づく町の次世代育成支援対策行動計画の位置づけを持った計画となっています。

実施事業の進行管理は、この次世代育成支援の計画に基づく「子ども・子育て支援施策」を進めるにあたり、5つの基本目標ごとに町が具体的に取り組む95事業について、その進捗状況を管理するものです。

○進行管理票について

各事業の進行管理票（5ページ以降）は、第2期計画期間である令和2年度から令和6年度まで毎年度評価を行うもので、今回ご確認いただくのは令和3年度分です。

- ①進行管理票「1. 基本目標」から「5. 事業番号」までは、策定当初に定めたものです。
- ②「6. 現状と課題」と「7. 年次計画」の指標と各年度の計画値は、策定当初から状況に応じて記載内容を変更している場合があります。
- ③「7. 年次計画」の実績値、達成率、評価、今後の方向性は、令和3年度の実績や事業の状況を踏まえて記載しています。評価の理由は、今後の方向性なども踏まえて記載しています。

○計画進行管理集計表（基本目標ごとの実績）と実施事業の状況について

1ページから4ページの進行管理集計表については、5つの基本目標ごとに、全部で95事業（うち再掲11事業）についての評価ランクを集計したものです。集計のもとになる進行管理票については、事業主管課が自己評価を行ったものです。事業の性質上、あるいは他機関・団体等の所管事業のため目標値や指標の設定がない事業や令和2年度で終了した事業が全部で11事業あり、基本目標ごとに「設定なし」として整理しています。

以下、基本目標ごとに集計状況と併せて、評価がA以外の事業や、A評価でも今後の方向性が拡大・改善の事業など、いくつかの事業について抜粋して説明します。

5ページ 基本目標1

基本目標1 子育て家庭の支援

35事業中23事業がA評価、7事業がB評価、2事業がC評価、3事業が設定なし

5ページ 事業番号1番・児童クラブ運営事業

旭小学校区に新たな児童クラブを開所したことにより、同学校区内の待機児童が解消されました。また、次年度に向けて、小谷小学校区に児童クラブを開所する為の場所を確保しました。他の学校区においては、待機児童を解消する取り組みが実施できず、目標値を達成することができなかったことから、B評価としましたが、公共施設等の児童クラブとしての活用を検討し、待機児童の解消を図ります。

6 ページ 事業番号 2 ・ 保育所運営事業（通常保育事業）

待機児童がいる中で、定員に対する児童入園率は計画値を満たしていませんが、保育所等の面積要件、保育士配置基準を満たす範囲内で、より多くの児童を受け入れています。入所希望園に偏りがあり、定員に満たない施設があることから、B評価としました。

9 ページ 事業番号 5 番 ・ 一時保育事業（幼稚園型を除く）

平成 29 年度からは認可保育所 4 園すべてで実施していますが、どの施設も定員を満たしている状況の中で、空きがないと受入ができない状況です。実績値が計画値を満たしていないことから B 評価としましたが、令和 2 年度と比較すると、確保提供量は増となっています。

10 ページ 6 番 ・ 子育て支援センター事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、利用者数を制限しての開所をしたことに伴い利用者数が減少し、目標値を達成できなかったことにより B 評価としましたが、育児不安を抱える保護者に対し手紙や電話による状況の把握に努めました。今後のコロナの状況が見通せないため、事業の実施手法等を工夫するよう検討していきます。

11 ページ 7 番 ・ ファミリー・サポート・センター事業

利用件数は前年度と比較して増加しています。要因は、保育園の送り・迎え、施設への送り・迎えが必要な会員の利用が増えたことによるものです。年度末時点での会員数は 861 人で内訳はおねがい会員 606 人、まかせて会員 133 人、どっちも会員 122 人で、まかせて会員が少ない状況です。

なお、会員登録をしているものの活動実績がない会員も多くおり、厚生労働省より令和 3 年度から年度ごとに継続の意思確認を行うよう指示があったことから、改めて意思確認等の整理を行い、会員の更新をしたところ、昨年度比 209 人の減となりました。引き続き、事業の周知を工夫するなど会員の増に努めてまいります。

12 ページ 8 番 ・ 民生委員児童委員活動事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、健康管理センター以外の会場での「子育てひろば」を中止したことに伴い、開催回数が減少しており、B 評価としました。今後は、一部会場を変更して、感染対策を実施したうえで開催するため、今後の方向性を改善とします。

13 ページ 9 番 ・ (仮称) 健康福祉総合センター検討・建設事業

令和 3 年 3 月策定の「寒川町公共施設再編計画」において (仮称) 健康福祉総合センター建設予定地に保健福祉の集約施設の整備を示しましたが、学校適正化に向けた動きや、アフターコロナ・ウィズコロナを反映した公共施設のあり方の視点、消防広域化による分署出張所整備後の現行消防庁舎の活用方法の検討等、その後の状況変化を受け、令和 4 年 3 月に集約施設の整備を白紙としました。

一方で、令和 3 年 3 月策定の「寒川町総合計画 2040」の基本構想においては、さむかわ中央公園周辺を「にぎわい交流創出ゾーン」として位置付けています。

こうした状況を踏まえ、現状では保健福祉の集約施設の整備を「白紙」としたことへの対応策として、

これまでにない視点で、「にぎわい交流創出ゾーン」のビジョンを整理し、公民連携による公共施設のあり方を検討しています。そのため、(仮称)健康福祉総合センターの検討・建設事業としての評価についてはC評価、今後の方向性については廃止としました。

17ページ 13番・子育て支援プログラム実施事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため参加人数の制限をしたことに伴い、受講者数が減少し、B評価としましたが、参加者の満足度は高い事業となっています。

22ページ 18番・平和推進事業

令和3年度は寒川総合図書館で「平和パネル展」を開催しましたが、参加人数を把握できないため会場への来場人数(1日平均)を実績値としています。指標の設定時は参加型のイベントを実施していたため、「平和イベント事業の参加人数」を指標としていましたが、現在は展示型のイベントを実施しているため、指標を「平和イベント事業の来場人数(1日平均)」に変更し、令和4年度以降の計画値を進行管理票のとおり変更させていただきたいと考えております。

23ページ 19番・寒川総合体育館運営管理事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、休館や利用者数を制限して開館したことに伴い、開館日数及び利用者数が減少しており、B評価としました。コロナの感染状況を注視し、当面は利用者の制限を継続していきます。

24ページ 20番・青少年育成事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、キャンプ等の小学生体験学習の事業を中止したことにより、C評価としました。第1期計画時から事業の参加人数が減少傾向であることから、新規事業等を計画するなど事業の改善を図ります。

26ページ 22番・町営プール運営管理事業

令和3年7月に「HAYASHI ウォーターパークさむかわ」を開場し、夏期(7/1~8/31)の営業期間中30,005人の利用者数がありました。今後施設運営を継続していくことから、令和4年度以降の指標を「町営プール利用者数」に変更させていただきたいと考えております。

28ページ 24番・公民館講座開催事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部事業を中止しましたが、開催した講座については概ね定員に達する参加があり、参加者数は目標値に達しています。公民館に足を運ばない層である若い世代(子育て世代)へ働きかけていくためにも、引き続き、講座内容の検討や他課との連携を図れるよう取り組んでいきます。

40ページ 基本目標2

基本目標2 母子の健康の確保と増進

13事業中11事業がA評価、2事業がB評価

50ページ 46番・不育症治療費補助事業

不育症の治療を必要とする方へ向けには医療機関を通じて周知がなされていますが、申請がなかったことからB評価としています。不育症に悩む家庭の経済的負担の軽減を図るため、また、制度を設けておくことに意義があるとの外部評価もいただいていることから、事業を継続します。

52ページ 48番・母子予防接種事業

町広報等で周知を図っているものの、2種混合の接種率が減少傾向にあり、計画値に達しなかったことから、B評価としました。

53ページ 基本目標3

基本目標3 教育環境の整備

9事業中4事業がA評価、5事業がB評価

54ページ 50番・教育コンピュータ活用事業（小学校・中学校）

GIGAスクール構想により導入された児童・生徒一人一台のタブレットを効果的に活用するためには、ICT周辺機器の整備は必須であるため、引き続き、普通教室に情報化対応機器を整備することができるよう、今後の方向性を拡大としました。

なお、指標②の「普通教室への情報化対応機器（実物投影機1台とプロジェクター1台）の整備率」については、令和4年度に視認性の良い大型モニターの配備を行っていく予定であることから、令和4年度以降は、「普通教室への情報化対応機器の整備率」へ変更させていただきたいと考えております。

56ページ 52番・教職員の資質向上事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、教職員研修会は1回のみで開催となり、教育研究員研究会も少人数での開催だったことに伴い、参加人数が減少しており、B評価としました。

57ページ 53番・子ども読書ふれあい事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部事業を中止しましたが、おはなし会の定員を少人数に設定したことに伴い、実施回数・参加人数が減少しB評価としました。今後も感染対策をしながら、開催方法の工夫をし事業を継続します。

58ページ 56番・青少年指導員活動事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大半の会議や研修を中止としたことに伴い、参加人数が目標を達成しなかったため、B評価としました。

59ページ 57番・さむかわゆうゆう学園事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、公民館等で行っている子ども向け事業である「ゆうゆう学園」対象事業が大幅に中止となったことに伴い、「ゆうゆう学園」対象事業の参加者に対する修了証の交付者数も減少したことから、B評価としました。

60ページ 基本目標4

基本目標4 子育てを支援する生活環境の整備

20事業中13事業がA評価、2事業がB評価、1事業がC評価、4事業が設定なし

72ページ 72番・ふれあい塾運営事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業を中止したため、C評価としました。

73ページ 73番 新・放課後子ども総合プラン推進事業

町内5小学校区全てに児童クラブ及びふれあい塾を設置しているためA評価としております。今後、ふれあい塾の開催日数を増やすことなどについて検討をし、児童クラブと、ふれあい塾の連携に努め、総合的な放課後支援の充実を図ります。

75ページ 76番・児童遊び場の整備

「児童の遊び場」については法的な位置付けがなく、遊具を充実させることが難しい状況です。また、遊具の老朽化が進んでいることから、修繕や撤去等遊具のあり方について検討をしていく必要があります。遊具の安全点検を実施し、指標は目標を達成していますが、修繕が一部にとどまりB評価としています。

77ページ 基本目標5

基本目標5 要支援家庭への取り組み

18事業中13事業がA評価、1事業がB評価、4事業が設定なし

86ページ 93番・特別支援教育推進事業（小学校・中学校）

個に応じた教育やインクルーシブ教育の推進が求められているなか、特別支援学級の児童・生徒や、通常学級で支援を要する児童・生徒が増加しているため、今後ますます補助員等の人的整備を図っていく必要があることから、今後の方向性を拡大としています。